

## 040 II / 070 II シリーズ マルチロック コネクタ MK-II 取り扱い説明書

---

### 目 次

- 1 製品概要
  - 1-1 構成部品の名称と製品番号 (全体図)
  - 1-2 極数構成
  - 1-3 使用端子と適用電線
  
- 2 コネクタの組み立て方法
  - 2-1 端子の圧着
  - 2-2 端子の挿入作業
  - 2-3 リテーナの係止方法
  - 2-4 コネクタの嵌合方法
  
- 3 コネクタの分解方法
  - 3-1 コネクタの離脱
  - 3-3 リテーナの取り外し
  - 3-4 端子の引き抜き
  
- 4 注意事項

## 1 製品概要

### 1-1 構成部品の名称と製品番号

本製品名称は、.040Ⅱ/.070Ⅱ シリーズマルチ  
ロックコネクタMK-Ⅱ (MLC) といひ、下記内容に  
て構成されています。

### 全体図

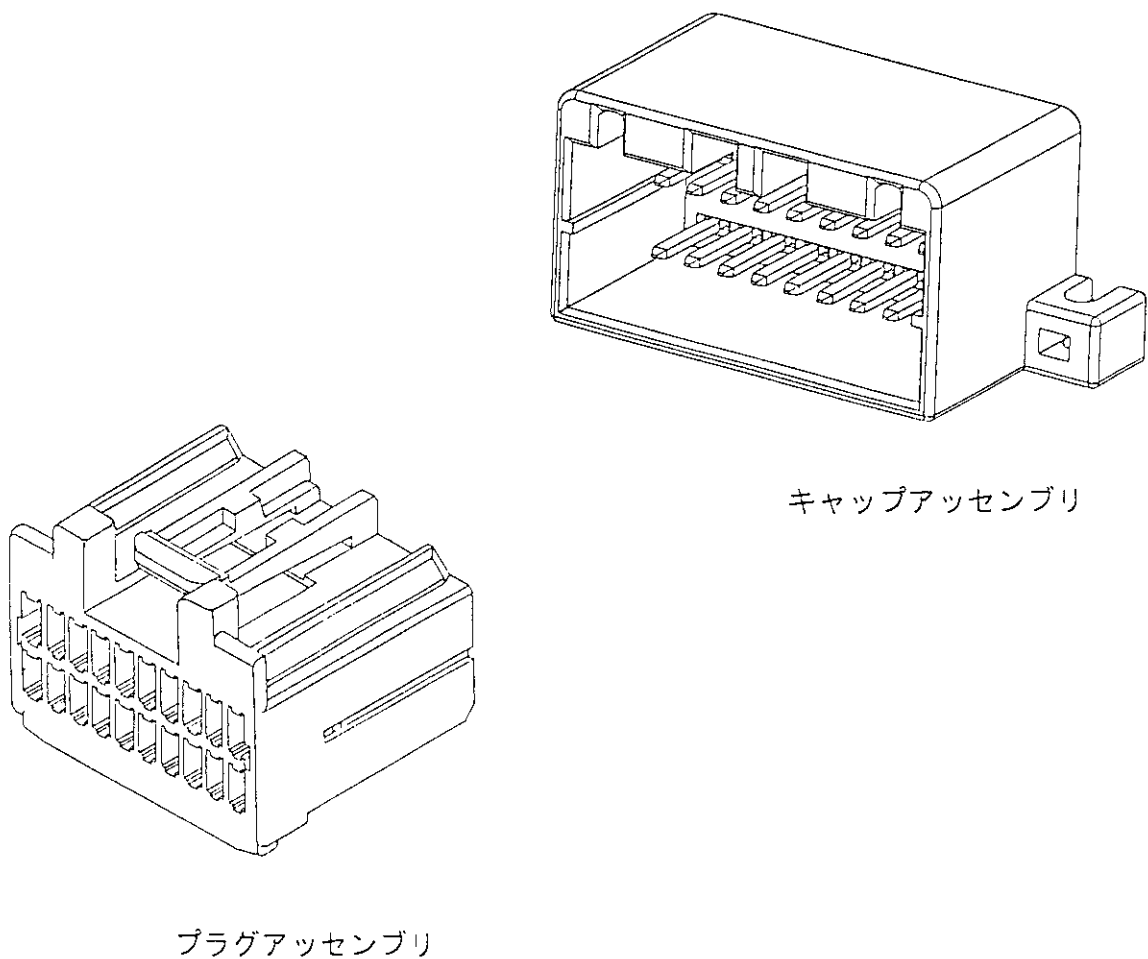


Fig.1

(2/10)

## 構成部品

部品名称	AMP 型番
.040 II 10極キャップアッセンブリ	316991-6
.040 II 20極キャップアッセンブリ	316993-6
.040 II 24極キャップアッセンブリ	353105-2
.040 II 36極キャップアッセンブリ	179059-6
.040 II / .070 II 36極キャップ アッセンブリ (コンビネーションタイプ)	179091-6
.040 II 48極キャップアッセンブリ	316370-6
.040 II 10極プラグアッセンブリ	316988-6
.040 II 16極プラグアッセンブリ	179054-6
.070 II 16極プラグアッセンブリ	179093-6
.040 II 20極プラグアッセンブリ	179057-6
.040 II 24極プラグアッセンブリ	316371-1
.040 II 24極プラグアッセンブリ	316372-6
.040 II 24極プラグアッセンブリ	353107-2

Fig. 2

## 1-2 極数構成

極数	.040 II	.070 II
10極MLC	10極	
20極MLC	20極	
24極MLC	24極	
36極MLC	16極+20極	
36極MLC (コンビネーションタイプ)	20極	16極
48極MLC	24極+24極	

Fig. 3

## 1-3 使用端子と適用電線

名称 Contact Type	端子型番 Parts No.	適用電線サイズ Applicable Wires				
		種類 Wire Type	0.3	0.5	0.85	1.25
. 040 I S	175265-1	CAVUS	○	○	○	×
		AVSS/CAVS	○	○	○	×
		AVS	○	○	×	×
. 070 I S	175268-1	CAVUS	○	○	○	×
		AVSS/CAVS	○	○	○	×
		AVS	○	×	×	×
. 070 I M	175269-1	CAVUS	×	×	×	○
		AVSS/CAVS	×	×	×	○
		AVS	×	○	○	○

○: 適用  
×: 適用外

Fig.4

## 2 コネクタの組み立て方法

### 2-1

#### (1) 端子の圧着

端子の圧着は、下記適用規格を参照し正しい作業を行って下さる様お願いします。

尚、規格外で圧着されますと正規の性能が出ないばかりか、加締部の保持力等が著しく低下する場合があります。

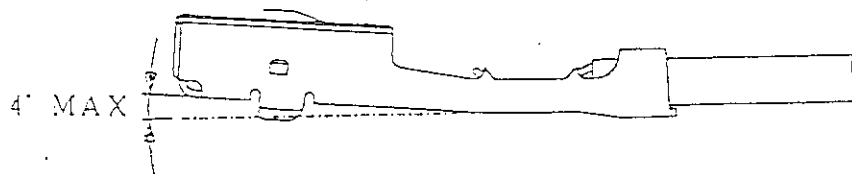
[040Ⅱシリーズリセプタクル及びコンタクトの圧着条件]  
 取付適用規格 114-5159

[070Ⅱシリーズリセプタクル及びコンタクトの圧着条件]  
 取付適用規格 114-5160

#### (2) 圧着後のベンドについて

圧着後のベンドアップ、ベンドダウンは $4^{\circ}$ 以内です。  
 変形した端子は新しいものと交換して下さい。

ベンドアップ



ベンドダウン

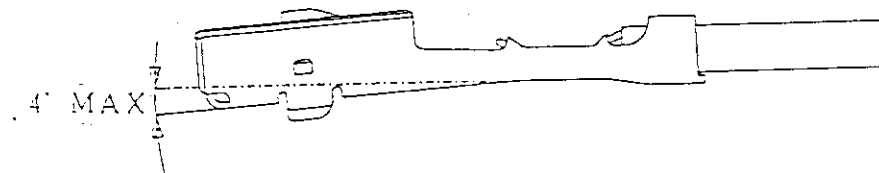


Fig. 5

(5/10)

## 2-2 端子の挿入作業

方向性を確認したうえ、端子を指定の穴にカチッという音がする迄挿入し、それ以上挿入出来ないことを確認し、さらに電線を軽く引っ張って端子が抜け出て来ないことを確認して下さい。

## ・端子の方向性

ハウジングのリテーナー側に端子のディンプルを向けます。

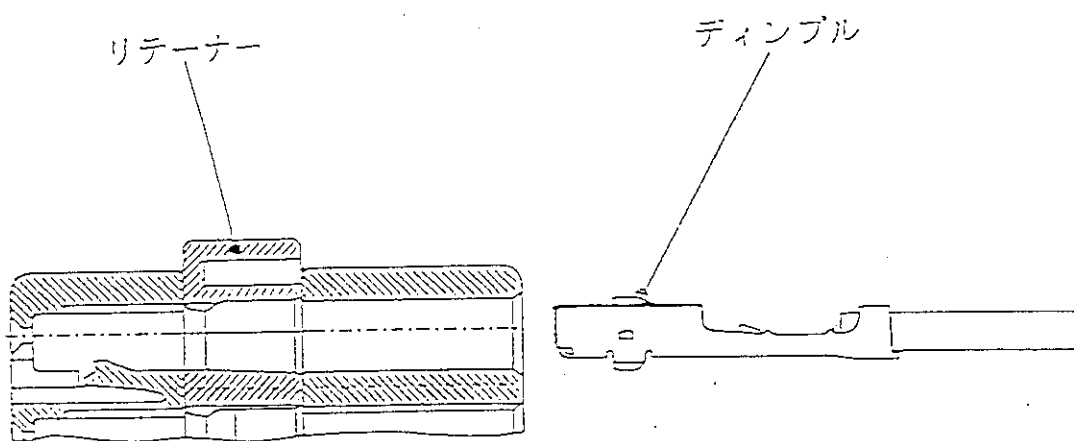


Fig. 6 (a)

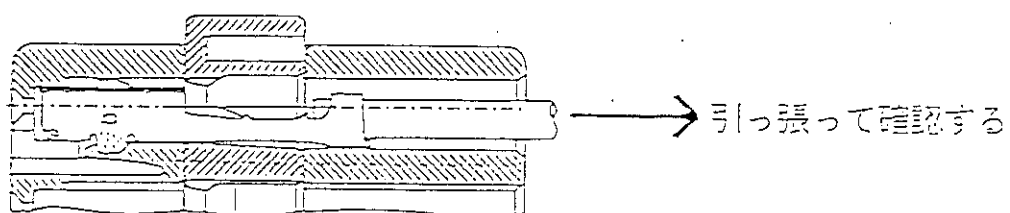


Fig. 6 (b)

## 2-3 リテーナの係止方法（仮係止→本係止）

本コネクタのリテーナは、仮係止されております。前項 2-2 に基づき、全ての端子を挿入した後、仮係止状態のリテーナを図示の如く本係止して下さい。端子が半挿入状態であると、リテーナを本係止することは出来ません。もう一度端子の半挿入がないかどうか確認して下さい。リテーナは、両端を押し、確実に装着して下さい。

## メスハウジング

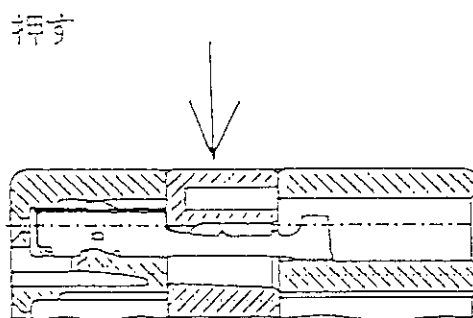


Fig. 7 (a)

端子が半装着だと押すことが出来ません

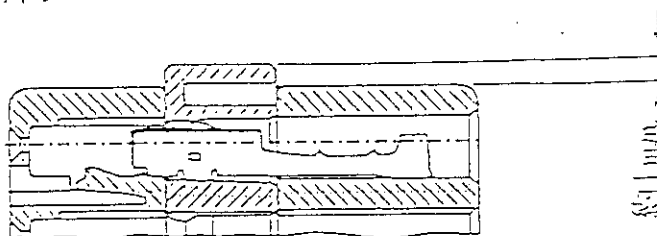


Fig. 7 (b)

## 2-4 コネクタの嵌合方法

メスハウジングのリブとオスハウジングのリブ溝を合わせるにより、嵌合方向を確認出来ます。

嵌合方向を合わせた後、オスハウジングとメスハウジングを止まるまで嵌合させて下さい。

(7/1.0)

### 3 コネクタの分解方法

#### 3-1 コネクタの離脱

オスハウジング上部のロックを押し下げながら、メスハウジングより引き抜いて下さい。

#### 3-2 リテーナの取り外し（本係止→仮係止）

端子の引き抜き時は、リテーナが本係止になっている場合は、仮係止状態にしてから引き抜きます。本係止の状態だと端子を引き抜くことが出来ません。リテーナの引き抜き治具挿入部2箇所には弊社推奨引き抜き治具（AMP 型番 715131-1）等を下図の如く挿入して、本係止から仮係止状態にして下さい。もしリテーナが仮係止状態から外れてしまった場合には、図示の如く合わせマークを合わせ仮係止状態にして下さい。

#### 3-3 端子の引き抜き

リテーナを仮係止状態にして下さい。本係止状態では、端子を引き抜くことは出来ません。

治具は必ず弊社推奨の引き抜き治具（AMP 型番 715131-1）を使用して下さい。

治具は必ず水平に穴に挿入して下さい。くれぐれも治具を下向きにして、下図に示しているNGの様に端子先端に当たらない様に注意願います。

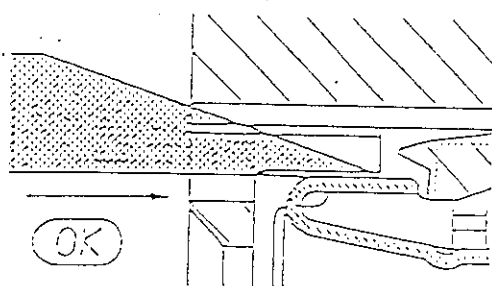


Fig. 8 (a)

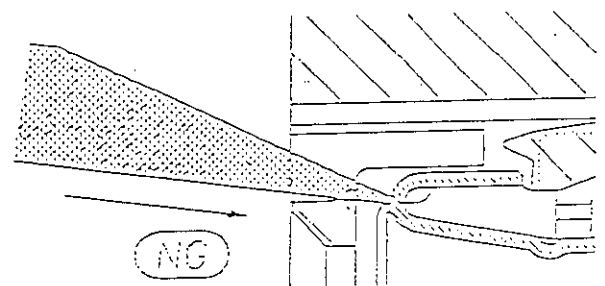
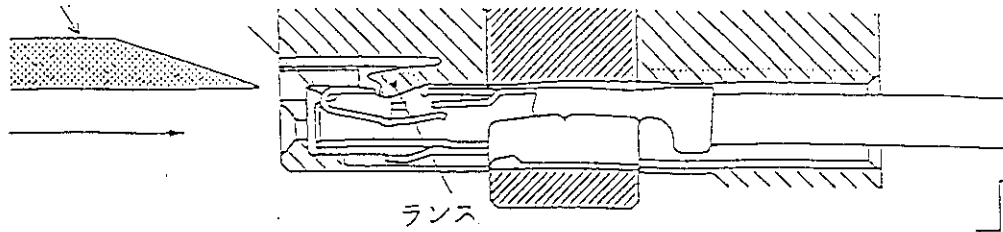


Fig. 8 (b)

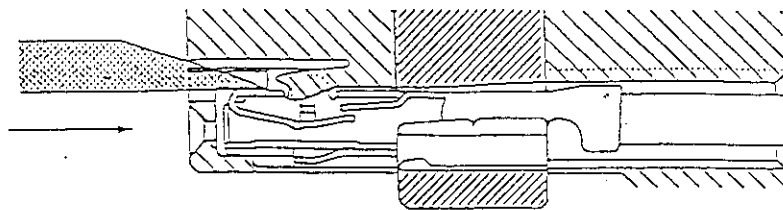
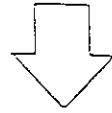


引き抜き工具

端子

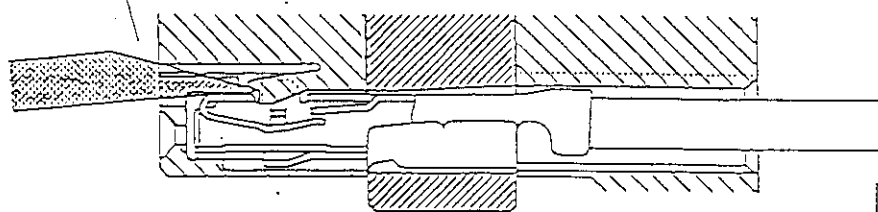
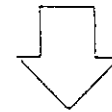


工具を水平にしてハウジングの穴に挿入します

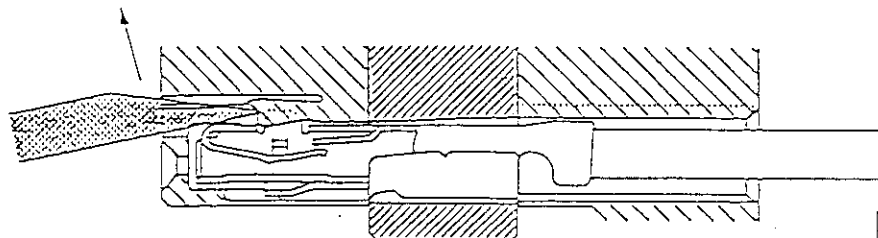
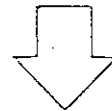


工具を端子の上部に添わせて止まるまで挿入します

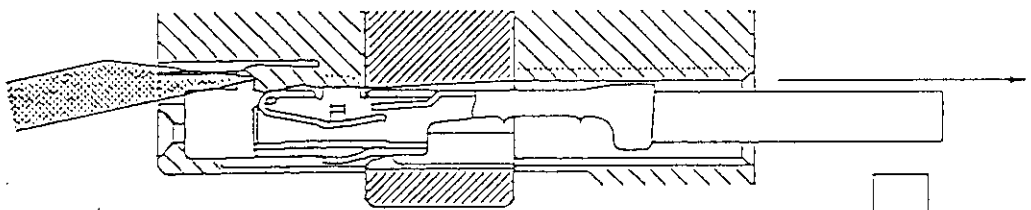
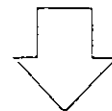
このときは決して力を入れないでください



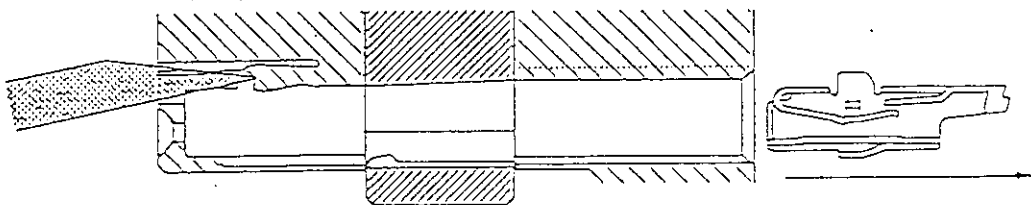
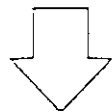
工具を矢印の方向に押し上げてください



工具をランスの係止が解除されるまで押し上げてください



ランスを押し上げたまま電線を矢印の方向に引っ張ってください



終了

Fig. 9

## 4 注意事項

### 4-1 取り扱い上の注意

本製品はある程度の衝撃に耐え得る様設計されておりますが、完全装着された場合はハーネスの重量も加算されます。外圧や運搬時の取り扱い、作業工程上での落下衝撃等には充分注意をお願いします。

### 4-2 異物の挿入

メスハウジング非嵌合時、オスハウジングではオス端子が裸状態となりますので、異物挿入や外圧による端子の変形には充分注意をお願いします。

—以上—